

躊躇なく分会に提言しよう

組合員のみなさん！ ユニオン組合員のみなさん！

少し古い話しですが、JR東海ユニオンが今年から、新たな中期目標として「ユニオントライ」をスタートさせたのを知っていますか。「中期」とは、向こう10年だそうです。

たくさんのトライがあるようですが、その中に「組合員の役割について」があり、安全の追求のために「組合員個々人の安全意識を高めることは当然のこと、日頃の業務の中で安全に係わる問題が発生したら、躊躇なく分会に対して提言していきます」とありました。

なんだか、規程か細則（葛西会長は、規程や細則、就業規則など全てを規律といい、守ることを忠誠という）のようですが、多分そのような意識が働いているのだと思います。すなわち、大会で決めた「ユニオントライ」＝規程や細則を守れ。守らないと、非違行為になると言っているように聞こえませんか。

当然、今までもユニオン組合員は分会役員に改善を求めて意見を言ってきたと思います。その意見はどのように取り上げられ、どのように申し入れ、どのように改善されたのでしょうか。はなはだ疑問です。ものを言って唇が寂しくなったユニオン組合員が大勢いるのではないのでしょうか。

ユニオン役員が分会・職場こそ安全確認の「水際」と言い、プロ意識の徹底を声高に発しています。会社に代わって、事故やミスを起こすな。インシデント（ヒヤリハットの意味か？）もダメだ、と言っているにすぎません。このプレッシャーこそが安全の最大の敵ではないのでしょうか。本来であれば労働組合がこのプレッシャーを取り除くためにこそ活動しなければなりません。90%のユニオンなら会社に物を言い、このプレッシャーを完全に取り除き働きやすい職場にできるはずです。

ユニオン組合員のみなさん！

遠慮してはダメです。休日勤務を解消してくれ。その為に、要員増を実現してくれ。自己啓発はイヤだと提言しましょう。